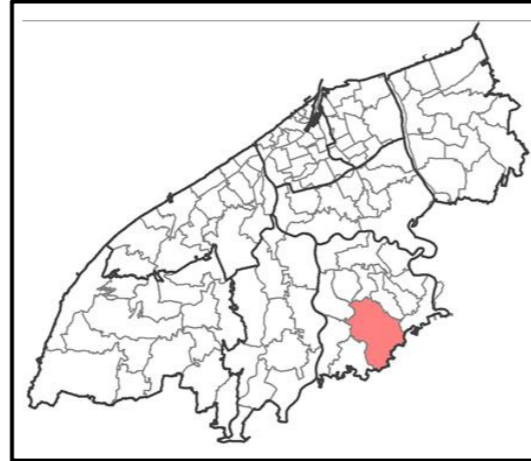


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: Address Name, etc. Rows include 朝日, 金津, 蒲ヶ沢, 塩谷, 田家2丁目, 中村, 西島, 西古津, 東島, 古津, 程島, 割町.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等 (秋葉区役所), 警察・消防 (朝日駐在所/秋葉消防署本署), 消防団 (秋葉方面隊 新津第1分団・新津第5分団・新津第6分団), 水防倉庫 (-), 一時避難場所 (-), 広域避難場所 (-), 主利な用要施設配慮者 (幼稚園・保育園: 金津保育園、林照寺保育園; 高齢者福祉施設 (-); 障がい者福祉施設 (-)).

●人口

Table of population statistics: 総人口 (7,677人), 0~4歳 (195人), 5~14歳 (501人), 15~74歳 (5,823人), 75歳~ (1,158人), 65歳以上人口 (2,321人), 世帯数 (2,921世帯), 一世帯あたり人口 (2.6人/世帯), 人口密度 (429人/km²), 昼間人口 (8,132人). Includes a pie chart showing age distribution: 0~4歳 (2.5%), 5~14歳 (6.5%), 15~74歳 (75.8%), 75歳~ (15.1%).

●建物関連指標

Table of building indicators: 総棟数 (5,176棟), S55年以前建築 (2,416棟), S56年以降建築 (2,257棟), 計 (4,674棟), 非木造 (503棟), S56年以降建築物 (2,662棟). Includes a pie chart showing building type and age: S55年以前建築 (46.7%), S56年以降建築 (43.6%), 非木造 (9.7%).

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table of evacuation sites within the district: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Includes 金津小学校, 金津中学校, 金津保育園, etc.

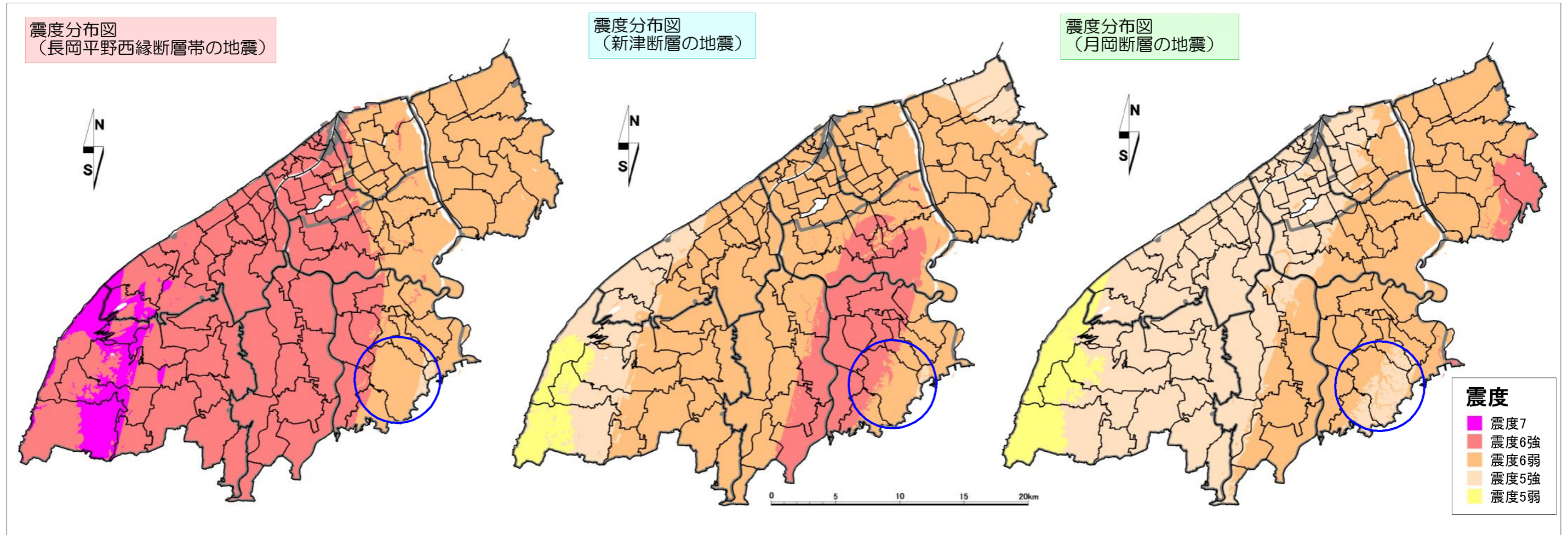
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table of evacuation sites outside the district: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Includes 新津第一中学校, 新津高等学校, 新津クリーンセンター, etc.

避難の可否(災害ごとに表記): 開設する施設を「○」、避難可能な階数を「○」、開設しない施設を「-」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

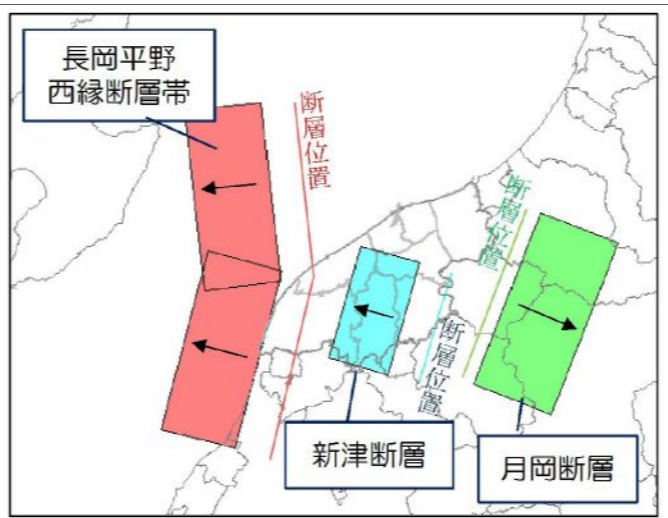
Table evaluating disaster risks: 津波 (地震), 土砂 (水害). Describes risks of earthquakes, tsunamis, and landslides in the area.



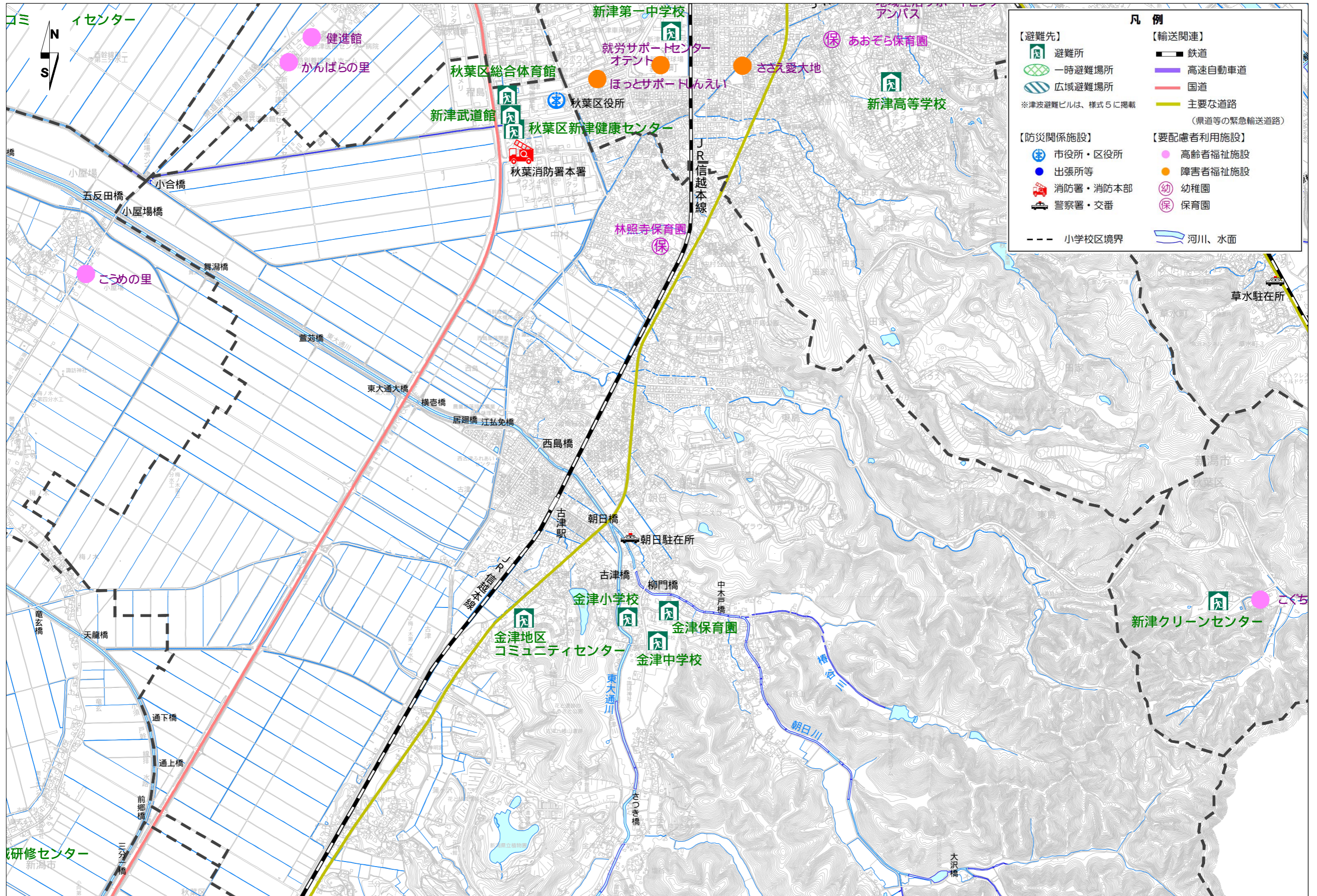
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年  断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。  月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上  断層の活動性 0.4m/千年程度

※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。  
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】  
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>  
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

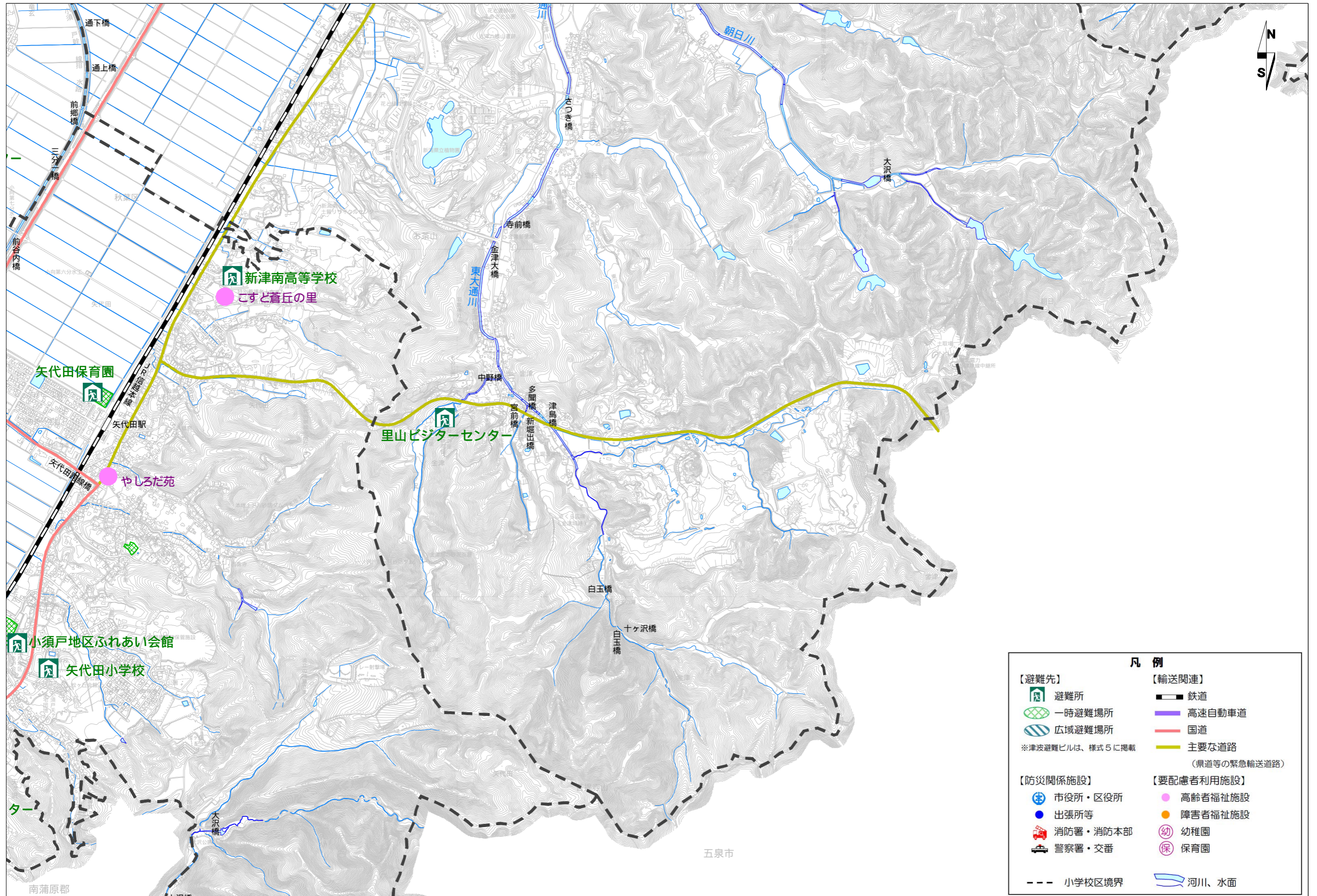


← は、断層の傾きを示しています。

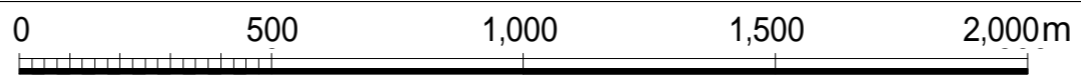


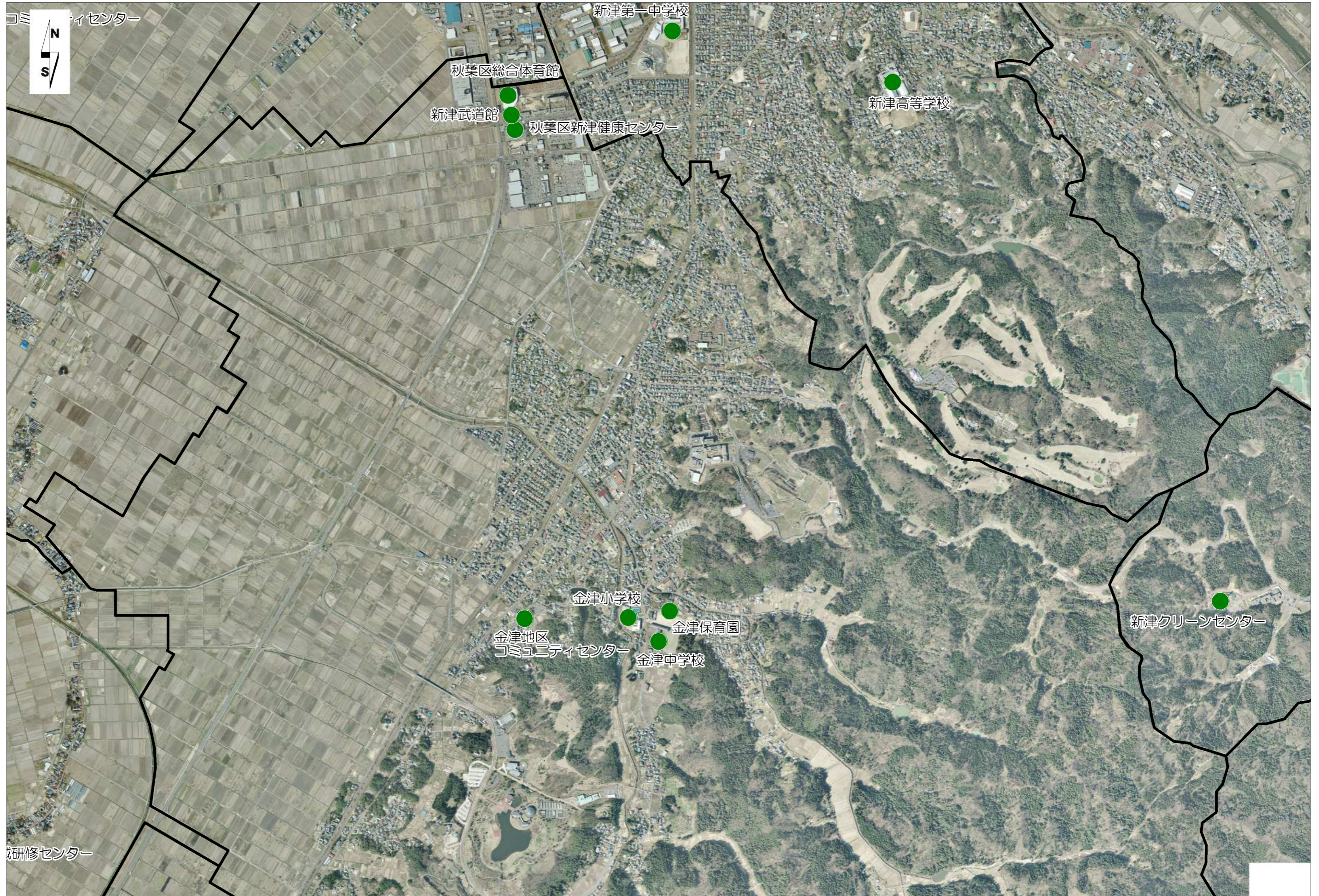
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

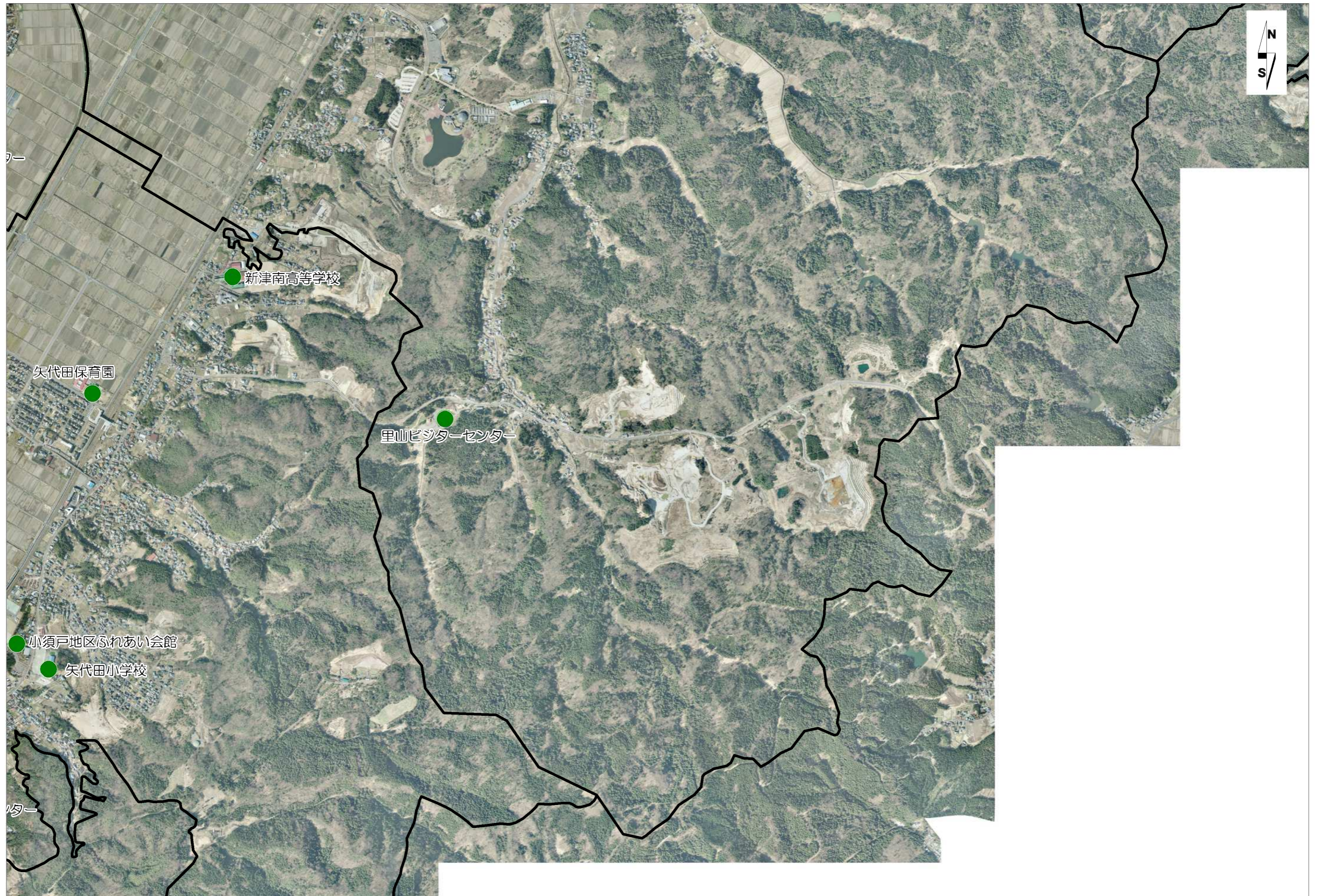
0 500 1,000 1,500 2,000m



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

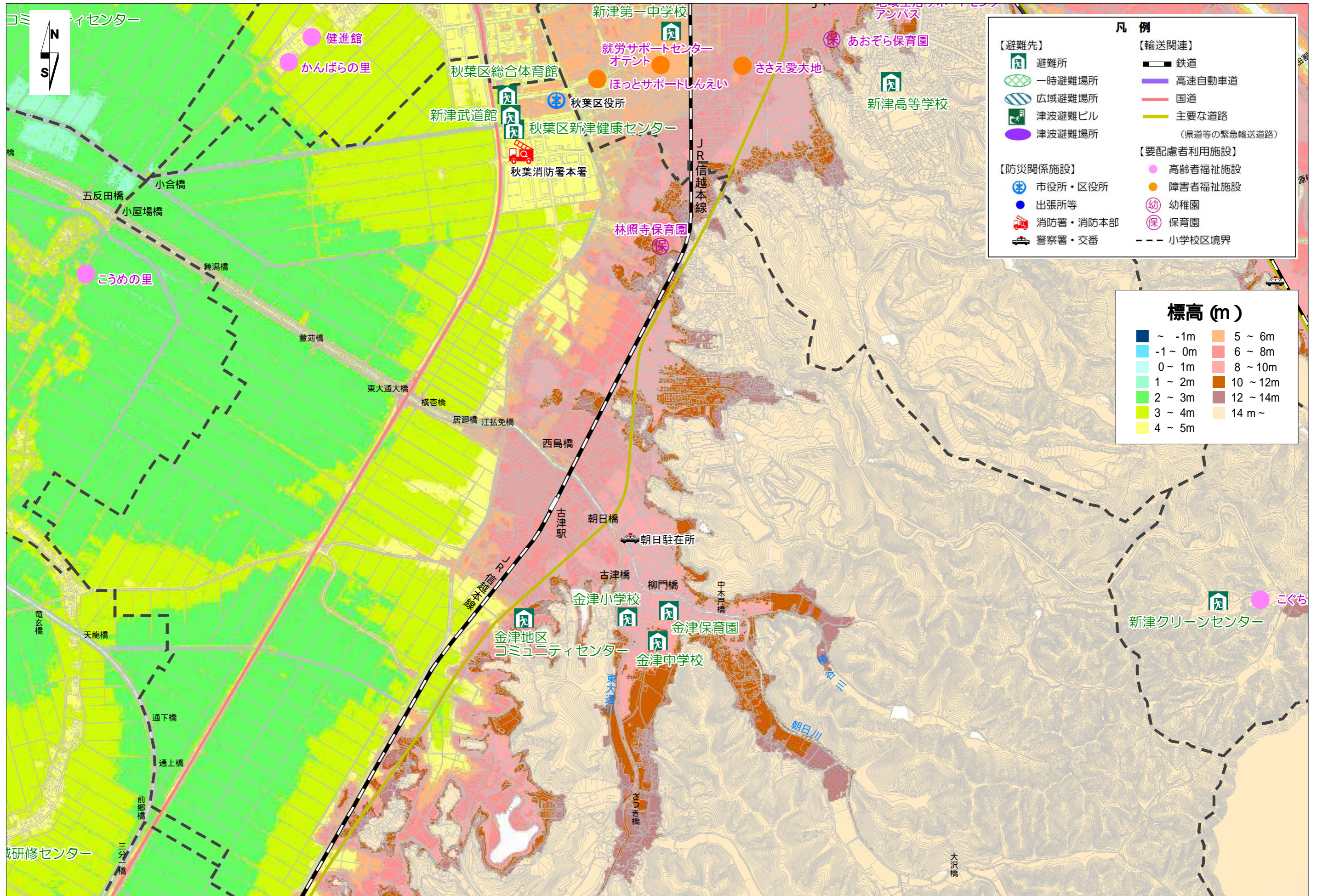






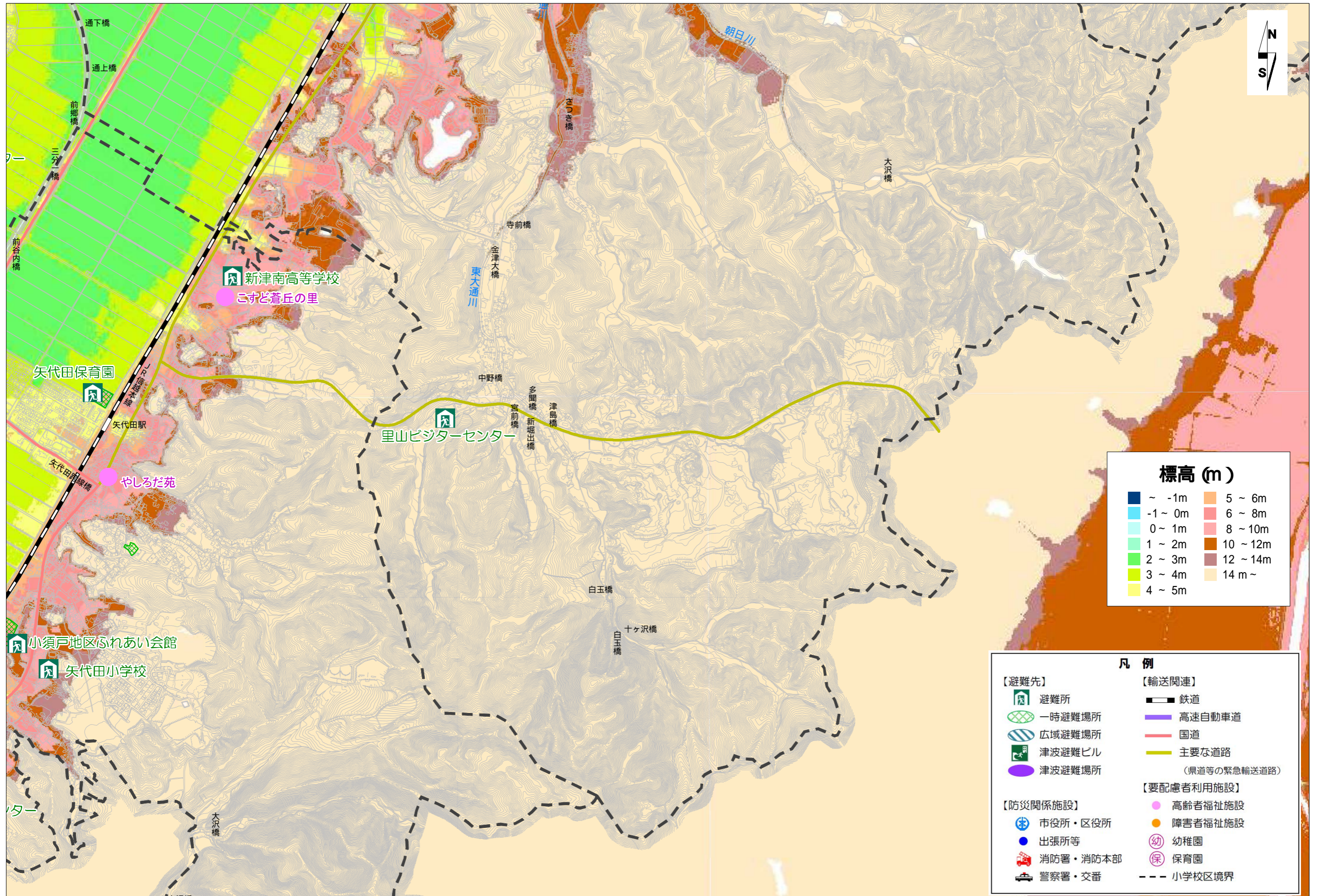
様式5 標高分布図

金津小学校区(1)

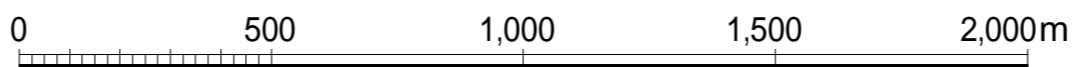


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)

0 500 1,000 1,500 2,000m



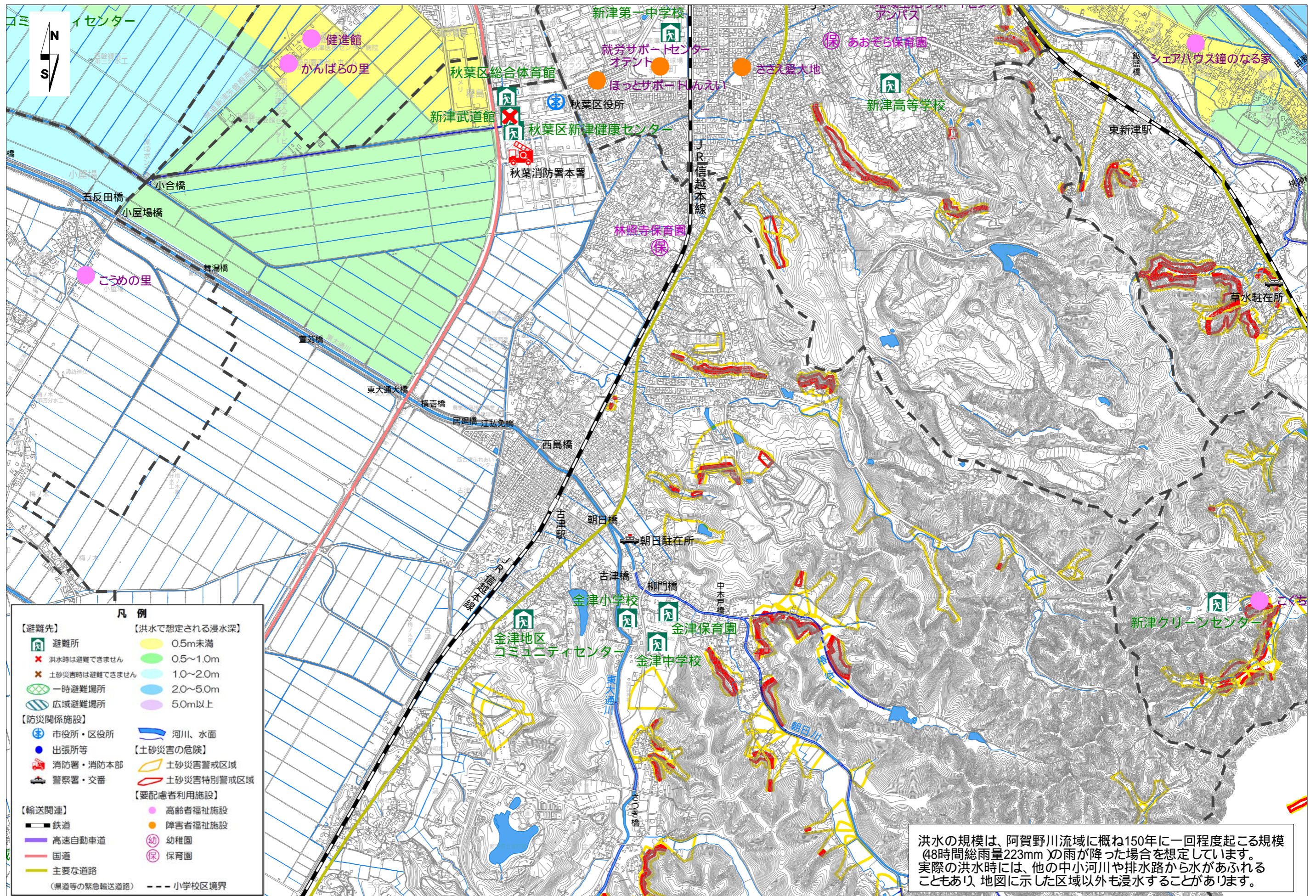
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)





様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

金津小学校区(1)



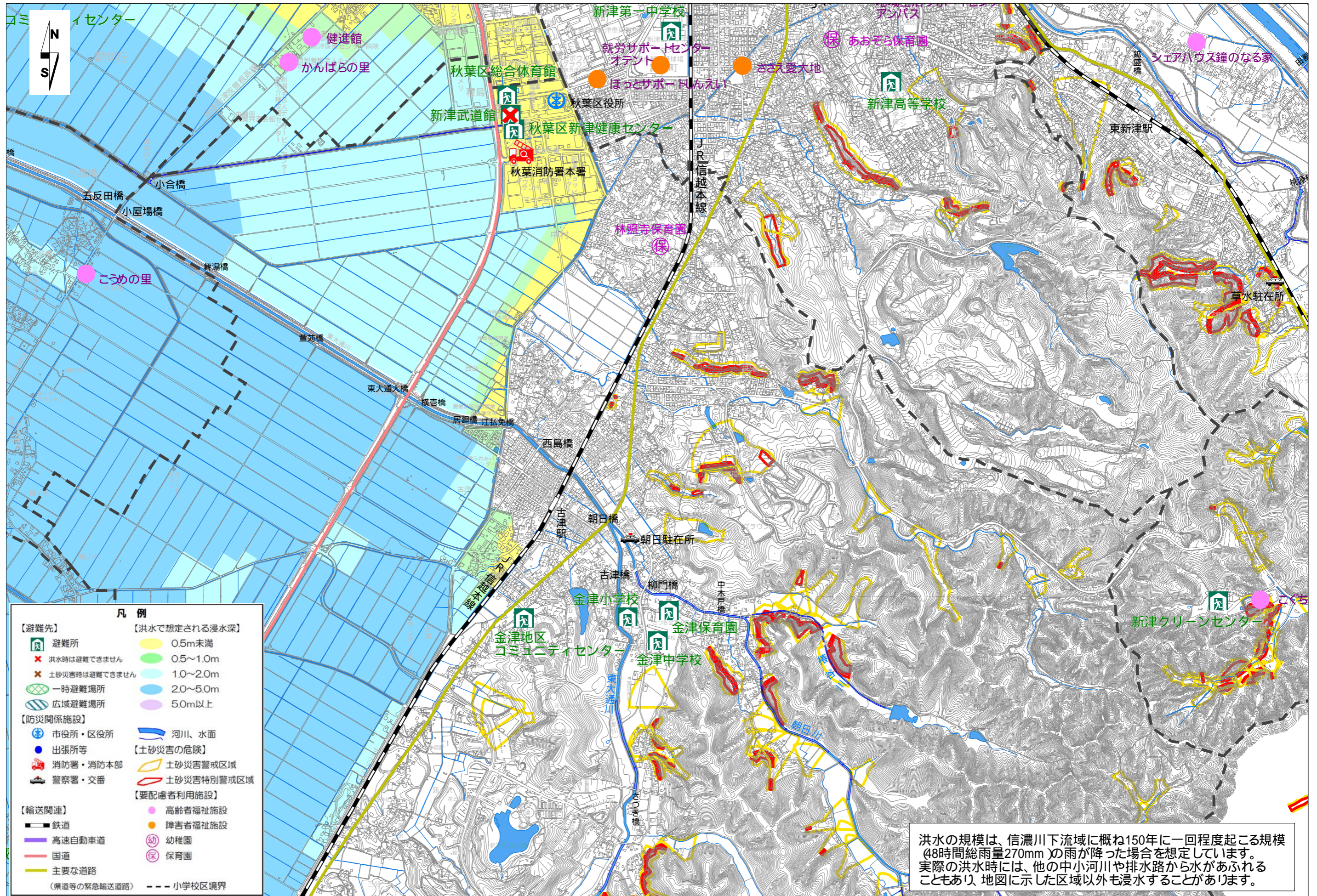
洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量223mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)

0 500 1,000 1,500 2,000m

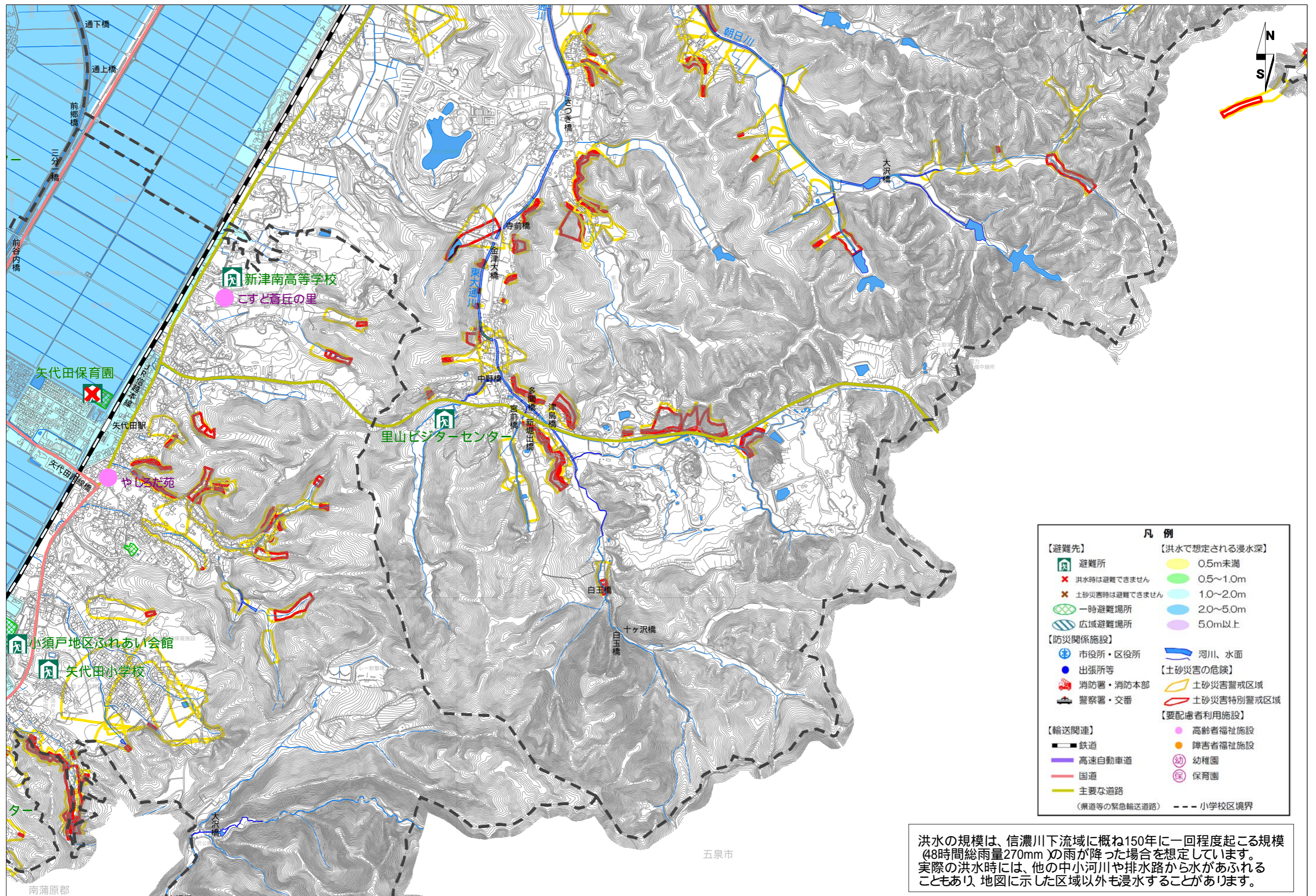
様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

金津小学校区(1)

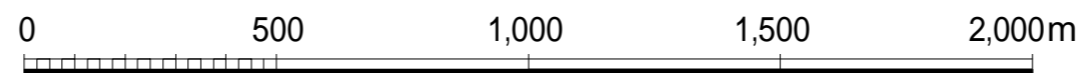


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

0 500 1,000 1,500 2,000m

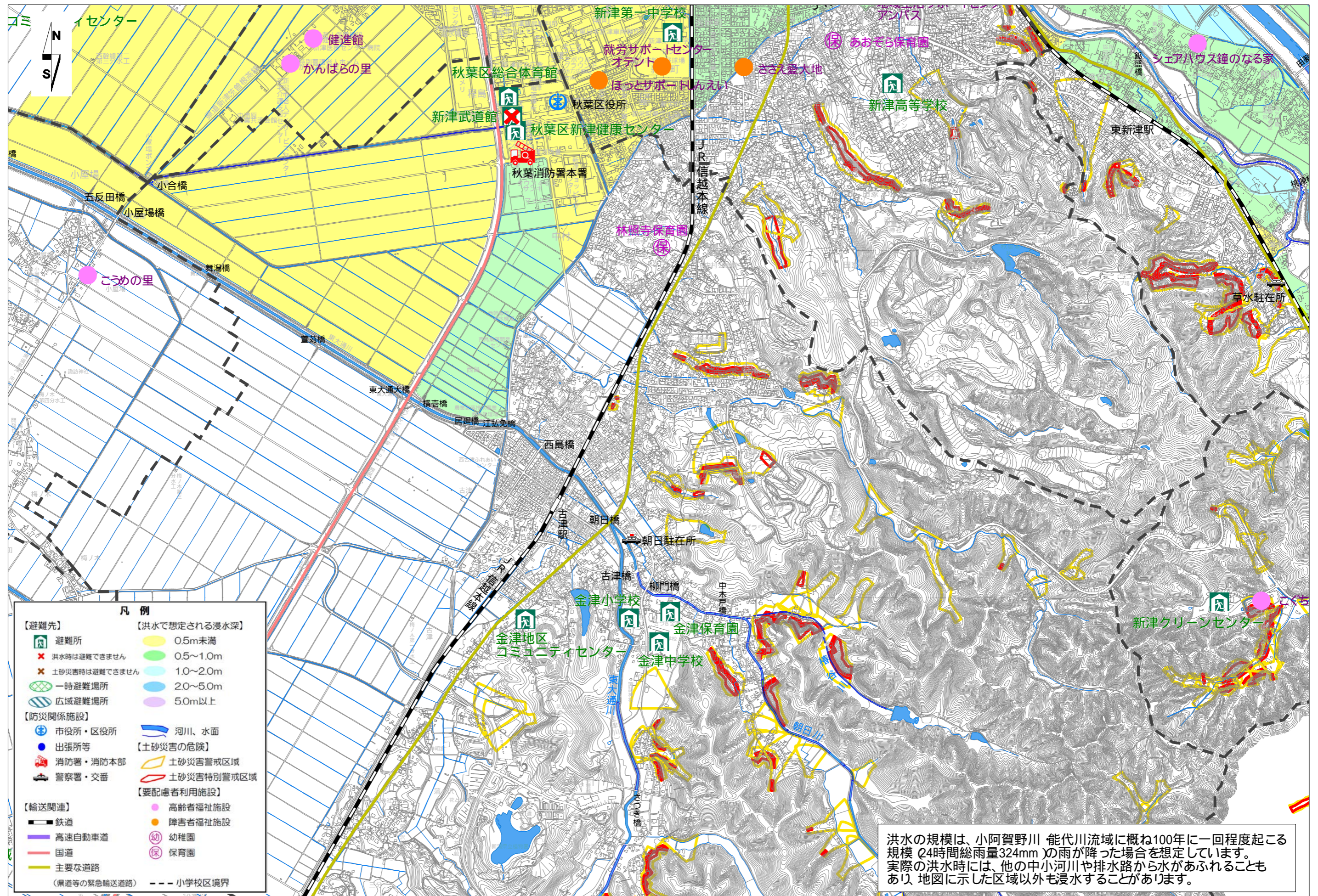


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
 信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



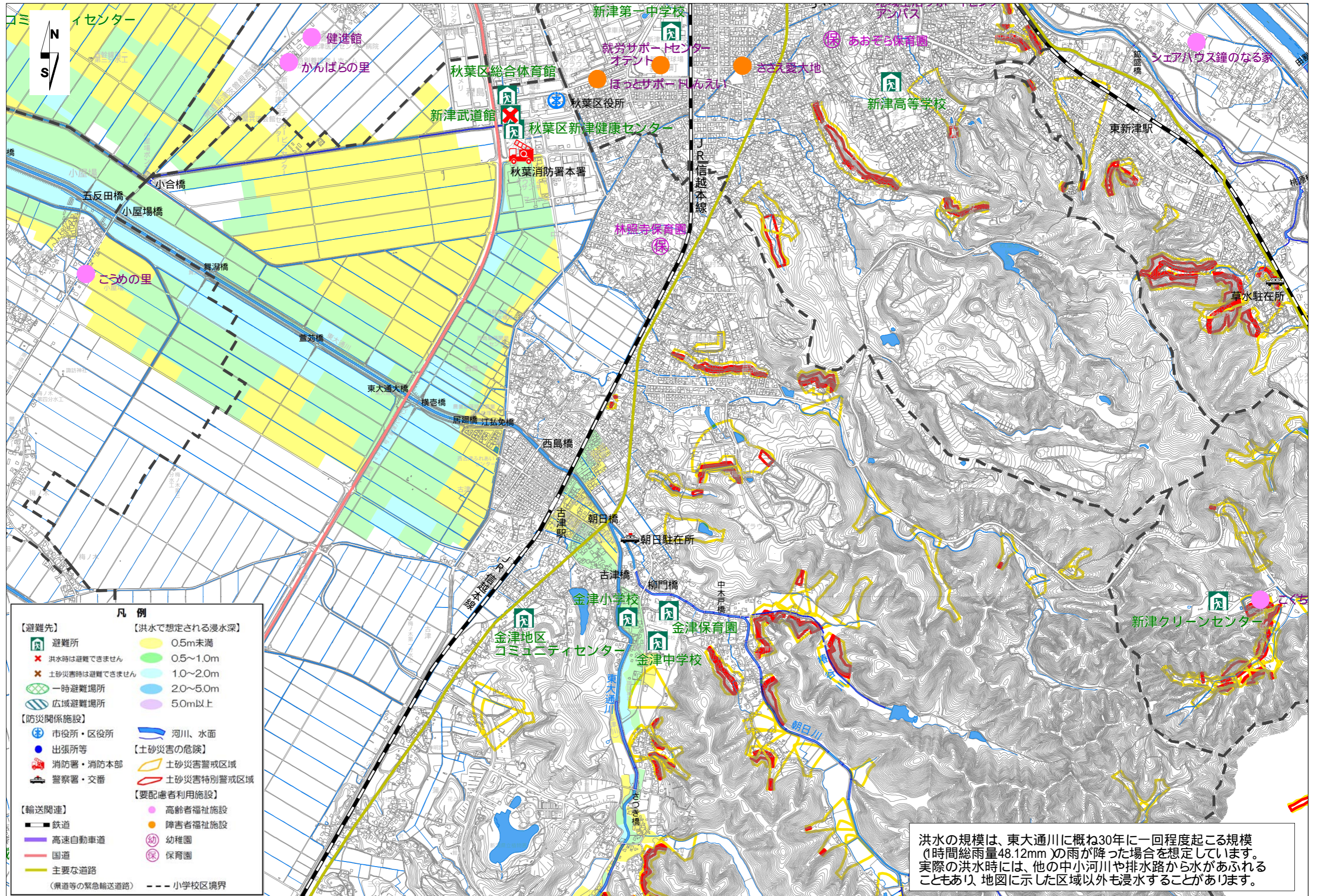
様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（小阿賀野川・能代川）

金津小学校区(1)



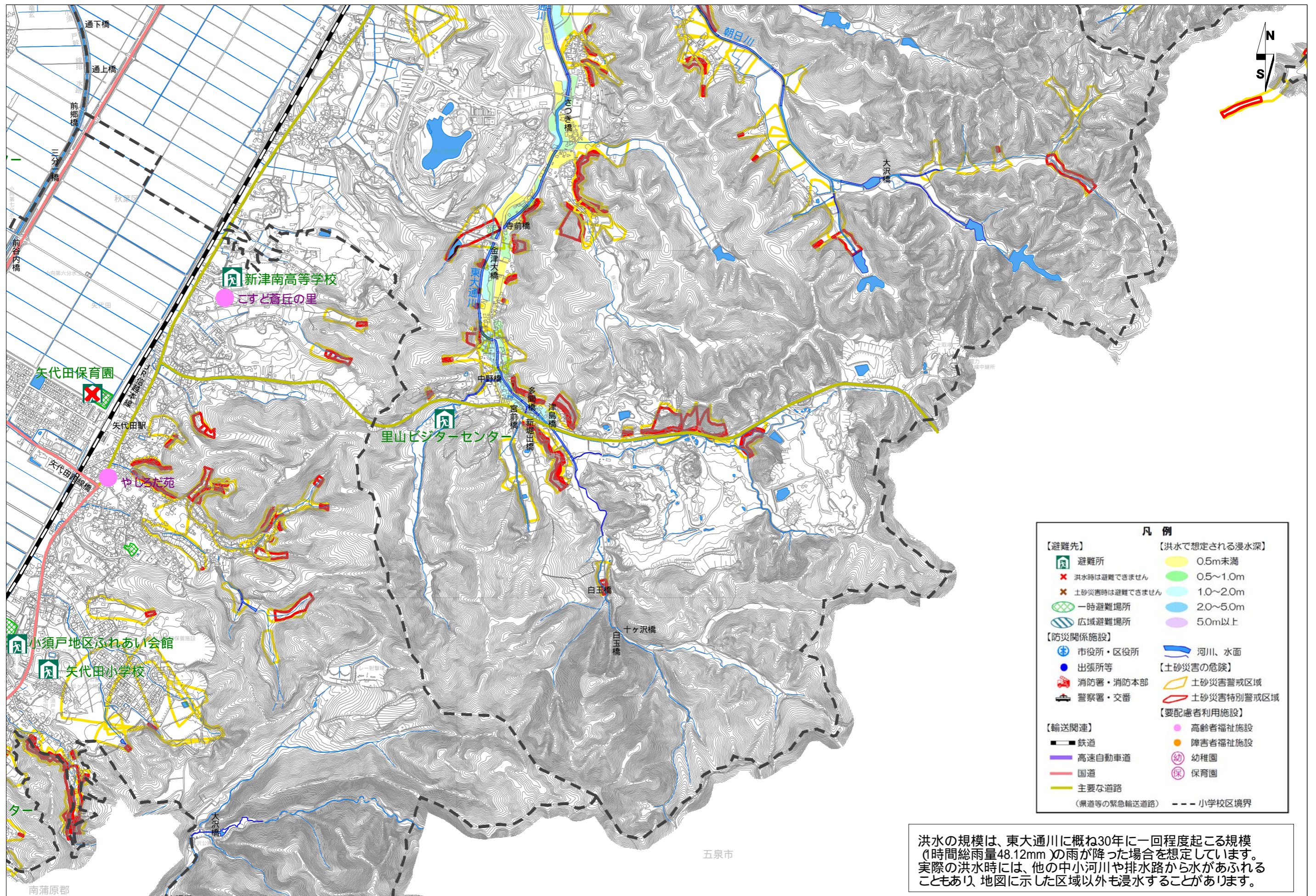
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
小阿賀野川・能代川浸水想定区域(新潟県,平成16年6月23日)

0 500 1,000 1,500 2,000m



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
東大通川浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)

0 500 1,000 1,500 2,000m



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
東大通川浸水想定区域(新潟県,平成20年2月26日)

